

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2027年3月31日	評価番号	A-334		
評価技術名称					連絡先					
部分開口 構造用合板補強工法					http://www.					
真壁「かさ上げ」					〒					
					電話		Fax			
概要	技術概要									
	床・天井を解体することなく、土台・梁から添え材により床天井レベルまでかさ上げを施し、構造用合板で補強する工法。									
	技術の特徴						コスト			
	<ul style="list-style-type: none"> 天井・床を解体することなく補強が可能。 板厚 9mmなので、石膏ボード等の既存壁と段差がつきにくく、取り合いが容易。 一般流通品なので取り扱いが容易。 						サンプル構面 19,280 円/kN			
設計見積り例					—					
公的機関による技術評価・性能証明					実験実施機関					
機関名					名古屋工業大学					
評価番号					その他					
評価取得日										
仕様	適用範囲				写真・図					
	構法		木造在来軸組工法							
	規模		3階建て以下							
	基礎、地盤		特になし							
	適用部位		内外壁							
	その他		特になし			かさ上げ寸法 $a+b \leq 370\text{mm}$ かさ上げ材 90×45mm 以上 かさ上げ用 釘 N90、 または同等長ビス (横架材、かさ上げ材に 対して)				
	主要構成部材の仕様				<div style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;"> 継手受材は 正面から見て 90mm </div>					
	構造用合板 厚 9mm 以上									
	釘 N50、CN50 @150 以下									
	間柱、継手受材、四方受材、かさ上げ材あり									
耐震性能										
評価仕様: 真壁仕様										
壁基準耐力		壁基準剛性								
5.0 kN/m		910kN/rad./m								
A-311 と同等 低減なし										
設計方法				600 ≤ W ≤ 1000 真壁 裏棧あり						
①柱接合部による低減				構造用合板厚 9mm 以上						
取付部分が健全であること				釘 N50、CN50 @150mm 以下						
②劣化による低減				四周、間柱打ち						
取付部分が健全であること				四方受材 45×45mm 以上						
				釘 N75 @150mm 以下						
				または N90 @200mm 以下						
施工者指定				継手受材 30×90mm 以上						
特になし				釘 四方受材に対し 2-N75 斜め打ち						
				四方受材・間柱に対し、継手受材負け						
				間柱 三ツ割材以上						
その他										